報道資料　　2025 年 12 月 1 日

ゲーム感覚で結婚式準備 サポートアプリを開発
約 45 個のステップ、カップルは楽しみながら“クリア”
ウエディングプランナーの業務を年間 600 時間軽減

結婚式をしない理由 4 人に 1 人が「準備が面倒」

結婚式場大手の（株）ノバレーゼ（東京、東証スタンダード上場）は、結婚式準備をゲーム感覚でできるサポートアプリ「WEDO PLAY（ウィードゥープレイ）」を、システム会社（株）トライスパイド（兵庫）と共同開発しました。

「WEDO PLAY」は、親族・親しい友人のみが出席する少人数婚の準備を支援するアプリです。カップルは楽しみながら忙しい準備を一つ一つ“クリア”できるほか、ウエディングプランナーの大幅な業務軽減を実現します。

導入は 2025 年 12 月 1 日（月）から当社が運営する「サザンチャペル キラナリゾート沖縄」で行います。今後は、式場ごとに内容をカスタマイズし、全国で順次導入を進める計画です。

「WEDO PLAY」はゲーミフィケーションの要素を取り入れており、新郎新婦は楽しみながら、手持ちのスマートフォンやパソコンで手軽に結婚式の準備を進めることができます。

準備は 45 項目程あり、「パーティの過ごし方」「思い出の残し方」など 7 つのステージに整理します。アプリに設定したキャラクターが呼びかけながら、“全制覇”に向けて誘導します。

カップルは、キャラクターが課す“ミッション”を、期日までに一つ一つ“クリア”しながら、次のステージに進んでいきます。

左）島全体を冒険に見立て、各ステージをクリアしていく。
右）TODO は、キャラクターが案内してくれる。

スマホを使えば、通勤時間などの隙間時間にサクサクと準備を進めることが出来ます。

アプリ内でポイントも貯められます。各準備の期日を守ると付与する仕組みです。獲得ポイントに応じて結婚式の費用から割り引くといった特典を今後検討します。

プランナーによっては年間 600 時間の業務効率化

「サザンチャペル キラナリゾート沖縄」のウエディングプランナーはこれまで、少人数婚を行うカップル 1 組と、1 回約 2 時間の打ち合わせを平均 3 回程行ってきました。

この打ち合わせ回数が、アプリを使えば 1 回で完結します。また面会の度に 1 時間程度かけて、ヒアリングした情報を社内システムに打ち込んでいましたが、カップルがアプリに入力してくれるため、こうした事務作業も軽減できます。そのためカップル 1 組あたり、6 時間（2 回の打ち合わせによる 4 時間と打ち込み作業 2 時間）の労働時間の短縮が見込めます。

ウエディングプランナーによっては年間 100 組のカップルを担当するため、今後は 600 時間を有効利用できる計算です。アプリの導入で省力化を図り、より効率的な運営体制を構築することができます。

期日を守ればポイントゲット

今回のアプリ開発で特に力を入れたのは、“結婚式準備”と“ゲーム”を組み合わせた「ゲーミフィケーション」の要素です。カップルが隙間時間を使って楽しみながら、約 45 項目の結婚式準備を進められるようにアプリを設計しています。

例えば最初のステージである「結婚式のイメージ」では、「ウエディングイメージ」「新郎新婦情報」「ゲスト情報」「招待状」「衣裳合わせのご案内」「カメラマン指名」「前撮り／後撮り」「アフターパーティ」「ハネムーン／アクティビティ」の 9 ステップを設けます。各項目に完了期限日も明示します。その期日内に“クリア”すると、アプリ内にポイントが加算されます。

ステージをクリアすると、各ステージにまつわるイラストがアプリのトップ画面に追加されます。例えば「ビーチ撮影」であればビーチで撮影をしているカップルのイラスト、「沖縄滞在スケジュール」であればホテルマンのイラストが登場します。ステージをクリアするごとにトップ画面がにぎやかになり、“プレイヤー”のモチベーションを高めます。ゲームのステージをクリアした時のような達成感が得られるように工夫しています。

タスクの案内役は、キャラクター「プリーちゃん」です。沖縄の会場向けアプリでは、可愛いシーサーの被りものをして、明るく元気に声をかけながら、カップルを誘導します。

結婚式当日の時系列に沿ってアイテムを決定

従来、結婚式の打ち合わせで決める内容は、当日の式次第順ではなく、納期がかかるアイテムから先に進めていきます。具体的には、印刷に時間を要する紙の招待状など外部発注を急がないと間に合わない項目順に、合計約 4 回の打ち合わせを行います。肝心な進行表の打ち合わせはそれからになるので、披露宴当日を想像しづらい状況で準備は進んでいきます。当社が結婚式後のカップルにヒアリングしたところ、「当日の進行イメージがついていなかった」という意見を多く聞きます。

そうした新郎新婦側の立場に立ったのが「WEDO PLAY」です。

アプリ上では「結婚式のイメージ」「沖縄滞在スケジュール」「ビーチ撮影」「挙式の過ごし方」「ウェルカムパーティ」「パーティの過ごし方」「思い出の残し方」順に、当日の時系列に沿ってステージが進行します。このアイテムはどの場面で利用するものなのかを想像しやすくしており、披露宴終了までの準備を終えると自然と、当日の流れが頭に入るように設計を考慮しています。

二人の好みに合わせてアプリが自動で商品提案

カップルはアプリ使用時にまず、理想とする「結婚式のイメージ」を入力します。

その情報を元に、アプリ側が 2 人の好みに合わせて、挙式スタイルや披露宴での食事、記録映像の種類などを、自動でピックアップして表示します。キャラクターがアイテムの特徴を説明するほか、注文期限や各ステップをクリアする上での注意点などもリマインドします。

アプリがプランナーの役割を担うので、現場スタッフにとっては、商品の案内不足などがなくなるメリットもあります。

コロナ禍で結婚式のスタイルは多様化、定着しつつある少人数婚

ブライダル業界はコロナ禍で大きく変化し、少人数で祝うスタイルやフォトウエディングなどが定着し、結婚式のスタイルが多様化しています。今回のアプリは、そうした多様化に合わせたサービスです。少

人数婚は、大勢が参加する一般的な披露宴と異なり、席次や引き出物の内容、余興の進行など、準備作業がそこまで煩雑化しません。アプリの開発でカップルは、より便利で手軽に、時短しながら、準備ができるようになります。

結婚式を実施しなかった理由ランキングの 2 位が「準備が面倒」

マイナビウエディングが実施した「結婚・結婚式の実態調査 2025【婚姻版】」※によると、結婚式を実施しなかった・しない理由に、4 人に 1 人（25%）が「準備が面倒」を上げています。これは「他のことにお金をかけたかった」（43%）に次いで 2 番目の高さです。

これまでカップルは、週末の休みを使って 3～4 回の打ち合わせに時間を割きながら、膨大な時間をかけて結婚式の準備をしてきました。今回のアプリを導入すると打ち合わせの回数が 1 回に減ります。カップルの「面倒」というイメージを払拭し、準備への気持ちの負担を小さくします。

※参考：マイナビウエディング「結婚・結婚式の実態調査 2025【婚姻版】」
https://wedding.mynavi.jp/contents/brasapo/files/mynaviwedding_marriage2025_.pdf

＜ノバレーゼ 会社概要＞

社名	株式会社ノバレーゼ［英文社名］NOVARESE, Inc.　※東証スタンダード市場上場				
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 8 番 14 号 銀座 YOMIKO ビル 4F				
電話	03-5524-1122（代）		創立	2000 年 11 月 1 日	
代表者	代表取締役社長 荻野洋基		連結売上高	192 億 9900 万円（2024 年 12 月期）	
従業員数	2472 人（連結）、1926（単体） ※いずれもパート・アルバイト含む（2024 年 12 月末）				
事業内容	ブライダル事業（婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門）・レストラン特化型事業				
国内				海外	
直営			提携	直営	
婚礼施設	ドレスショップ	レストラン	婚礼会場	レストラン	フォトウエディングとスパ運営事業
39 施設	25 店舗	11 店舗	2 店舗	1 店舗	1 店舗

※国内の施設数は開業予定も含みます

＜トライスパイド 会社概要＞

社名	株式会社トライスパイド［英文社名］Tricepied Co., Ltd.		
住所	〒652-0847 兵庫県神戸市兵庫区切戸町 1-19		
電話	03-6721-1795	設立	2015 年 2 月
代表者	代表取締役 竹中健祐		
事業内容	結婚情報サイト一元管理システム「TASCUT」の開発・運営ほか		

＜報道各位からの問い合わせ先＞

（株）ノバレーゼ 広報担当：松井
TEL.03-5524-2299 E-mail: t-matsui@novarese.co.jp